専大勢で初 石井・江藤ペア優勝

卓球・大阪国際招待選手権（男子ダブルス）

▲ 今後に期待の石井（左）・江藤ペア（大阪卓球協会広報委員会提供）

大阪国際招待卓球選手権が2月20日から22日まで、大阪府立体育会館ほかで行われ、男子ダブルスで石井匠（経営1・東山高）・江藤遼（商1・明豊高）組が専大勢として初めて優勝を遂げた。

全国の有力選手、海外からの招待選手も出場した今大会。石井・江藤組は5回戦でフルセットに持ち込まれる以外は、危なげない試合運びで勝ち上がる。迎えた決勝、白熱した試合は最終第5セットで、さらにジュースまでもつれ込む。手に汗握る展開を15―13で制し、専大入学後、初タイトルを手にした。

石井は「決勝の最終セットは緊張したが、江藤に支えられた。高校から出場していた大会で、見ている側だった決勝の舞台に、自分が立てたというのは大きな自信になる」。江藤は「うれしさと驚きが半々。秋からやってきた練習の成果が出たと思う」と語った。

徳増・森田ペアが3位

東京卓球選手権

3月11日から15日まで、東京体育館で開催され、専大からは男女18人が出場。男子ダブルスで徳増信弥（経済3・杜若高）・森田翔樹（商3・青森山田高）組が3位入賞を果たした。

徳増は神奈川県選手権（2月14、15日、横浜国際プール）の男子シングルスで優勝。また、サフィール国際オープン大会（2月18～22日、スウェーデン）の女子シングルスクラス1で天野友未（文1・日南学園高）が3位に入賞した。

杉本が3位に

関東学連の年間優秀選手

本年度より、関東学生卓球連盟の年間優秀選手表彰制度が新しく制定され、専大からは杉本枝穂（文4・青森山田高）が3位に選出された。3月6日に行われた関東学連送別会の場で、表彰を受けた。（馬場　雄也・ネット情報2）

13日初戦拓大と

東都大学野球春季リーグ（2部）日程

4月13日（月）専　大―拓殖大（12：30）
14日（火）拓殖大―専　大（10：00）
20日（月）日　大―専　大（10：00）
21日（火）専　大―日　大（12：30）
※5月4日（月）専　大―東農大（12：30）
※5日（火）東農大―専　大（10：00）
11日（月）駒澤大―専　大（12：30）
12日（火）専　大―駒澤大（10：00）
18日（月）国士大―専　大（10：00）
19日（火）専　大―国士大（12：30）

◇神宮第２球場で開催　※農大グラウンド
◇雨天、その他は順延
◇神宮テレホンサービス☎03（3401）8770
◇東都大学野球連盟ホームページ
http://www.tohto-bbl.com/

スピードスケート・全日本選抜

5000㍍と10000㍍で

蓑田が優勝

▲ 今季最後の大会で2冠を達成した蓑田（写真＝川口ひろし氏提供）

全日本選抜スピードスケート競技大会が2月27日から3月1日まで、岩手県営スケート場で開催され、5000㍍、1万㍍で蓑田翔（経営2・白樺学園高）が優勝を収めた。

「優勝できるとは思っていなかったので、うれしいです。ユニバーシアードで頑張っている先輩たちのレースを聞いていたので、僕も頑張らないと、と思って滑りました」と振り返った。

今季最後の大会で2冠を達成し、チームもインカレ、関カレで優勝に輝くなど、最高のシーズンになったが、蓑田は「みんなが力を合わせて、良い成績を残したが、個々では自らの目標を達成できた訳ではなかった」と話す。

来季の目標として「まずは、ワールドカップの前半戦に出場すること。そして来年はオリンピックイヤーなので、高い目標かもしれないが、それを目指して頑張りたい」と語った。（佐山　竜太・経済2）

スキー・全日本学生スキー技術選手権（女子）

小野塚が総合優勝

ターンの質など技術を競う全日本学生スキー技術選手権が2月7、8日、長野県の志賀高原熊の湯スキー場で行われた。女子個人で小野塚彩那（商3・湯沢高）が4種目すべてで1位となり、総合優勝を果たした。

小野塚は全日本技術選手権（3月10～14日、長野県・白馬八方尾根スキー場）でも健闘し、総合準優勝を遂げた。

今季は多くの大会で好成績を残した小野塚。チームを引っ張る存在として更なる期待がかかる。

大森が準優勝

全日本選手権・クロスカントリー

3月15日から20日まで、札幌市白旗山スキー場で行われ、大森菜保子が女子1㌔スプリントで2位。大丸夏希（商2・東奥義塾高）と出場したチームスプリントでも5位と健闘した。今季最後のレースで好成績も「1位の人には勝ちたかったので悔しいです。来季までに課題を修正したい」と話し、「来年はオリンピックを目指して頑張りたい」。その高い向上心で、これからも世界で飛躍を目指す。（山中　克浩・経済1）

ユニバーシアード冬季競技大会前試走会

道下、大森ら健闘

ユニバーシアード冬季競技大会が2月18日から28日まで、中国・ハルビンで行われた。専大からはスピードスケート部の道下雅史（経営4・白樺学園高）、今野陽太（経営4・白樺学園高）、スキー部の大森菜保子（経済4・花輪高）が出場。道下がチームパシュートで6位、大森が3×5㌔リレーで7位と健闘した。

【スピードスケート】

道下は3人1組の団体追抜競技・チームパシュートで6位となったほか、1万㍍で9位、500㍍で13位。今野は1500㍍で16位となり、ともに決勝まで勝ち進んだものの表彰台には上がれなかった。

道下は「世界の壁を感じたが、今のベストは尽くせた。まだまだ技術も体力も世界のレベルには追い付いていないと思った。来年のバンクーバー五輪を意識し、4年間で学んだことを生かしたい」と話し、今野は「練習では上手く調整できたが、本番は緊張で思い通りに滑れなかった。今後も五輪出場を目指して頑張りたい」と語った。（佐山）

【スキー】

好調をキープし、「目標にしてきた」と意気込んで臨んだ大森だったが、世界の壁は厚かった。リレーではチームの入賞に貢献したが、表彰台を目指した得意のスプリントは15位。15㌔クラシカルでも16位に終わり、「絶対に勝ちたい大会だったので、気負いすぎてしまった。残りのシーズンは来季につながるレースをしたい」と話した。（山中）

サッカー・デンソーカップ

関東学生選抜に5選手

関東、関西、九州など各地域の大学連盟の選抜チームによるデンソーカップチャレンジサッカー南さつま市大会が3月6日から8日まで、鹿児島県の加世田運動公園陸上競技場ほかで行われた。

専大からは関東学生選抜Aに DF藤本修司（法2・駿台学園高）、MF佐伯大成（法2・鹿島学園高）、FW神村奨（ネット情報2・相武台高）の3人が、同Bに DF渡部博文（経済3・山形中央高）、FW高山薫（経営2・生田東高）の2人が選出され、高山、神村がともに2ゴールを挙げる活躍を見せた。

陸上競技・日本学生ハーフマラソン

五ヶ谷6位、五十嵐7位

日本学生ハーフマラソン選手権が3月8日、東京の国営昭和記念公園で行われ、五ヶ谷宏司（経営3・専大松戸高）が1時間2分52秒で6位、五十嵐祐太（文2・荏田高）が同タイムで7位となったのが最高順位だった。（久田　照喬・商2）

水泳・ジャパンオープン2009

200㍍自由形で池永が自己ベスト

日本短水路選手権水泳競技大会（ジャパンオープン2009）が2月21、22日、東京辰巳国際水泳場で行われた。女子200㍍自由形に出場した池永早弥佳（法3・東京立正高）が予選で自己ベストを2秒も上回る1分57秒91で泳ぎ、見事決勝に進出し、7位入賞を果たした。

また、町田洵（法3・桐光学園高）、小倉隆幸（経済2・八王子高）、桑端幸永（商1・武蔵野高）も自己ベストを更新し、4月の日本選手権の出場権を獲得した。（高田　有梨・文1）

第45回リーダースキャンプ

求められるリーダー像探る

青島健太、京谷和幸氏が講演

第45回専修大学体育会リーダースキャンプが3月4、5の両日に、熱海市の「熱海後楽園ホテル」で開催された。体育会所属の各部の主将、主務が集まり、「いま求められるリーダー像を探る」をテーマにグループディスカッションや発表を行い、リーダーの在るべき姿などを考え、学びあい、各部の交流を深めた。

また例年通り講演会も行われ、1日目に元プロ野球選手で、現在はスポーツライターやTVキャスターとして活躍する青島健太氏が分かりやすく、そして熱く、新しいリーダーの在り方やリーダーシップの取り方などを講演。2日目は北京パラリンピック車椅子バスケットボール日本代表の京谷和幸氏が自分自身の実体験を基に、アスリートとしての姿勢を丁寧に伝えた。2日間を通し、両氏の講演を新リーダーたちは真剣なまなざしで聞いた。（佐山）

▲ 真剣に京谷氏の話を聞く学生たち

◀ 熱弁を振るう青島氏

国際大会出場選手

◇柔道部
伊藤　道郎（商3・山形工高）
水貝　英斗（商3・皇學館高）
朝比奈竜太郎（商1・滝川高）東京学生柔道連盟海外研修（3月6～15日＝米国）

記録コーナー

◇スキー部
▽国民体育大会冬季大会「トキめき国体」（スキー競技、2月17～20日、新潟県）【女子クロスカントリー・5㌔クラシカル】田村真理（文2・十日町総合高）＝3位【女子アルペン・大回転】小野塚＝3位
◇テニス部
▽関東学生選抜強化選手権（2月7、8日、各大学テニスコート）【女子シングルス】木川里奈（ネット情報1・共栄学園高）＝優勝【男子ダブルス】田島佳卓（経済3・東海大菅生高）・清水裕貴（経営1・足利工大付属高）組＝優勝
◇馬術部
▽関東学生新人競技（2月27、28日、東京競馬場）団体4位
◇レスリング部
▽デーブ・シュルツ国際大会（2月6～8日、米国・コロラドスプリングズ）【フリー120kg級】荒木田進謙（経済3・光星学院高）＝5位【グレコ120kg級】平川臣一（商3・三井高）＝5位